



Title	レーダー観測による北海道オホーツク海岸沖の流水分布 1995年1月~4月
Author(s)	石川, 正雄; 高塚, 徹; 池田, 光雄; 白澤, 邦男; 青田, 昌秋
Citation	低温科学. 物理篇. 資料集, 54, 81-104
Issue Date	1996-03-25
Doc URL	http://hdl.handle.net/2115/18804
Type	bulletin (article)
File Information	54_p81-104.pdf



[Instructions for use](#)

Masao ISHIKAWA, Tohru TAKATSUKA, Mitsuo IKEDA, Kunio SHIRASAWA and Masaaki AOTA 1995 Distributions of pack ice in the Okhotsk Sea off Hokkaido observed using a sea-ice radar network, January–April, 1995. *Low Temperature Science, Ser. A, 54. Data Report.*

レーダー観測による北海道オホーツク海岸沖の流氷分布^{*,**}

— 1995年1月～4月 —

石川 正雄・高塚 徹・池田 光雄

白澤 邦男・青田 昌秋

(低温科学研究所)

(平成7年12月受理)

要旨：北海道大学流氷観測用レーダー網による北海道オホーツク海岸沖の1995年1月7日から同年4月29日までの毎日午前9時における流氷分布を示した。流氷分布図の作成は、レーダー画像処理装置を利用して以下の手順にしたがって行われた。①枝幸、紋別、網走、3局の各レーダー映像を画像処理装置のブラウン管面上で重ね合わせ、3局合成レーダー画像をつくる。②波浪や雲からくる妨害信号を人手によって除去する。③氷縁や氷湖などを線でなぞり流氷域を明確にする。④これを地図画像上に重ね合わせ、流氷域に斜線を施して流氷分布図を完成させる。

氷野内には大小無数の氷湖が存在する場合もあるが、作図に当たっては、氷縁と比較的大きな氷湖に主眼をおいた。流氷初日から終日までの各局の3時間毎のレーダー映像写真が保存されている。詳細な流氷分布の変化を追跡する場合には利用できる。なお、1969年から1988年までの資料集に基づいて、この期間の流氷量変動の統計的整理が行われている。その結果は低温科学 物理篇 第47輯に「北海道沿岸の流氷量の変動」と題して報告されている。

Abstract : Distributions of pack ice in the Okhotsk Sea off Hokkaido were observed using a sea-ice radar network and were drawn manually at 0900 JST from January 7 to April 29, 1995. In addition, time series pictures of radar images were taken automatically every three hours through the sea-ice season.

キーワード：流氷分布，オホーツク海，北海道，流氷観測用レーダー網，レーダー映像

Key words : Pack Ice, Sea of Okhotsk, Sea-Ice Radar Network, Radar Image

* 北海道大学低温科学研究所業績 第3874号

** 北海道大学低温科学研究所 流氷研究施設 研究報告 第145号













































